

外手だより

かんがえる子
がんばる子
やさしい子
けんこうな子

世界へかがやけ外手の子
5月号 No. 2
令和8年4月24日
墨田区立外手小学校

子供の問題行動を減らす対応 ―応用行動分析学の手法で―

校長 柿沼 広美

保護者や教員で子供の問題行動に悩む方はたくさんいます。問題行動とは嘘をつく、かんしゃくを起こす、ちょっかいを出す、授業中立ち歩く、汚言を止めない、など本人や周りにとってよくない行動です。通常の指導や説諭をしても繰り返す場合は、本校では応用行動分析学の考え方で対応します。子供の問題行動は間違った自己表現ととらえ、それで何を訴えているのかを見極めることが大切です。いずれ収まる、言っても聞かないとあきらめたり決めつけたりせずに、本人の分かってもらいたい気持ちを対話で引き出します。問題行動は、それによって注目を浴びる、親や先生がかまってくれる、何かをやらなくてすむ、何かをやってもらえるなど、手っ取り早く報酬が得られるため、本人は無意識でも繰り返されます。そこを本人との対話と約束によって目標を決め、ギリギリ許せる行動やよい行動に置き換えていく手法です。「参考 長澤正樹著 子どもの問題行動へのエビデンスある対応術 ケースで学ぶ応用行動分析学 明治図書」

また、大人にとっては当たり前のことでも、子供が努力してできたことや我慢したことはその場ですぐに認めたり褒めたりすることがどの子にもとても大切です。そのためには温かい関心をもって観察し続けることが必要です。問題行動をした時の叱り方は特に重要です。

ただし、学校を抜け出す、過度な暴力を振るうなどの場合は子供と教員の安全のため警察に通報します。特別支援教育コーディネーターで指導教諭の三好先生は理論と実践のエキスパートです。わが子への対応でお困りの際は担任を通じてご相談いただければと思います。

生活の合言葉「あ・じ・み」

あ いさつ・ことば

自分からあいさつする 思いやりある言葉づかいをする

じ かん

5分前行動 休み時間は次の準備をして待つ

み だしなみ

服装を整える 名札をつける 上履きを正しく履く

先月の外手だよりや保護者会の全体会でもお知らせしました。少しずつではありますが、意識して行動している児童が増えてきたように感じます。朝、教室で待っている担任を見た瞬間に元気よく挨拶する児童がいます。その姿を見た友達も同じように挨拶をします。あいさつの輪が広がっていることは確かです。一方5分休みの過ごし方や、名札の着用、上履きのはき方に課題がある児童がいます。上履きは、「小さくて履けません。」名札は、「服に穴があくから付けたくないです。」という児童がいます。再度、ご家庭でもご確認ください。ルールやマナーを守って、誰もが居心地がよい学校になるように指導していきます。

生活指導 飯塚由美子

学校生活のスタート

入学から1か月が経ち、子供たちは新しい環境の中で日々成長しています。登校後の準備や給食の配膳など少しずつ身に付き、落ち着いて過ごせる時間が増えました。

学習においても、先生や友達の話をよく聞き、姿勢よく取り組もうとする姿が見られます。ひらがなの読み書きや数の学習など、新しい内容にも意欲的に挑戦し、一つ一つできることを増やしています。

また、学年全体では校庭で元気いっぱい体に動かして遊んだり、一年生を迎える会に向けて歌や動きの練習に取り組んだりしました。友達と関わりながら、楽しく小学校生活を送る様子が見られます。

幼稚園や保育園でのこれまでの経験を通してできるようになったことがやる気や自信につながっているのだと思います。これからも、一人一人のペースを大切にしながら安心して学校生活を送れるよう見守っていきます。

1学年担任 桐原 光輝